

支所発地域力向上支援金事業実施報告書（自己評価）

令和7年2月21日

事業実施地区	寺尾地区
事業名	金井山の環境美化を行う事業
団体名及び 代表者名	(団体名) チーム金井山 (代表者名) 吉池 莊一 (連絡先) 電話; 090-2647-4248 FAX; 278-4357

■事業概要（選考委員会の助言を含む）

(1) 金井池東端を整備し、春(昨年度)に桜を植樹および雑草を除去した。	【事業完了日】
(2) 金井山城址から堀切への急な登山道に階段設置および金井山城址の植栽の確認を行った。	令和7年2月20日
(3) また、今年度も金井池東端の雑種地に更に桜2本およびアジサイ7本を植樹した。	【総事業費】
(4) 金井池側の金井山遊歩道沿いにスイセン150球を植えると同時に秋咲きユリの種を蒔いた。	140,306 円
	【補助金額】
	140,000 円

※活動状況のわかる写真・成果物等を別途添付

■事業効果（目的の達成度・地域への貢献度等について）

【目的の達成度】
(1) 目標としては90%達成した。
【地域への貢献度等】
(1) 10月11日(金)の寺尾小学校3,4年生の金井山遠足登山に会員が同行した。
(2) 金井山沿いの細い道路と金井山を周遊しても2時間以内のコースであるので、健康のため散歩する人が増えています。

※参加人数等、数値化して効果を表せるものがあれば数値化したものも加えて記載をお願いします。

■事業評価（該当欄に○）

	予定を上回る	予定どおり	概ね予定どおり	予定を下回る
事業の内容			○	
事業の効果			○	
特記事項 (評価理由等)	もっと木の伐採をして見晴らしを良くしたい。 地権者との交渉が必要であるが、金井池の周囲に桜の植樹を増やしたい。			

■今後の取組予定

(1) 植栽の管理および鳥打峠側にスイセンの植付を実施する。
(2) 適宜に木の伐採を実施し、植栽の成長を促すと伴に尾根筋からの見晴らしを良くする。
(3) 金井山不動尊手前の急な登山道に階段を設置する。
(4) 登山道の維持管理と更なる整備を実施する。

支所発地域力向上支援金 事業評価(松代支所)

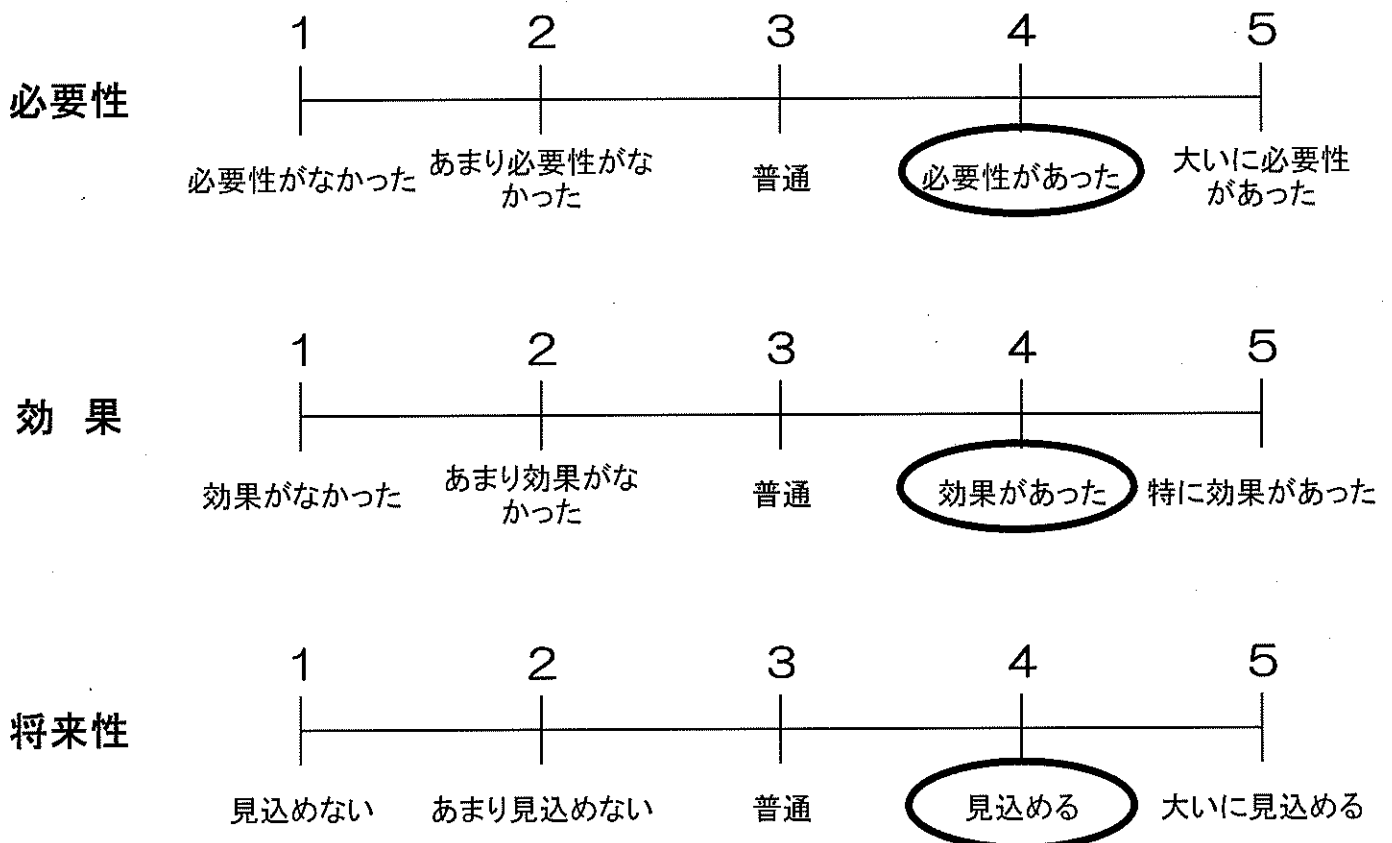
令和7年2月21日

事業名	金井山の環境美化を行う事業
-----	---------------

団体名	チーム金井山
-----	--------

評価項目 (選考基準の視点で評価)

事業区分	環境整備保全活動
------	----------



支所長の総合評価 (次年度以降の活動への助言等)

- ・令和4年度から継続している登山道整備活動を実施をしたことで、登山者がより安全に登りやすくなり、地元小学校の遠足登山やNPO法人主催の金井山散策イベントの実施など、散策する人の増加に繋がっている。
- ・今後、会員による活動だけでなく、趣旨に賛同してくれる人を募ったり、地元住民や小学校の児童などと共に整備活動や植樹活動を行うことで、景観が次世代に継承され、地元愛の醸成にも繋がると期待される。

支所発地域力向上支援金事業実施報告書（自己評価）

令和6年11月14日

事業実施地区	松代地区
事業名	文庫の収蔵書籍の充実
団体名及び 代表者名	(団体名) ぽぽろ文庫 (代表者名) 森山 環 (連絡先) 080-5141-8290

■事業概要（選考委員会の助言を含む）

地域文庫の活動を通して、こどもたちに読書の楽しさ大切さを伝えている。高齢者が多くなっていることを踏まえ、地域文庫として担える活動を実践してきた。 単年度の活動ではないので、今後もこの補助金で購入した資料を活用していく。	【事業完了日】
	令和6年11月14日
	【総事業費】
	95,183 円
	【補助金額】
	95,000 円

※活動状況や備品の表示がわかる写真・成果物等を別途添付

■事業効果（目的の達成度・地域への貢献度等について）

文庫の運営（週一回開館）を通して、図書館の役割を担い、地域住民に貢献している。

保育園、小学校などでの読み聞かせ活動を行い、本の楽しさを伝えられている。

※参加人数等、数値化して効果を表せるものがあれば数値化したものも加えて記載をお願いします。

■事業評価（該当欄に○）

	予定を上回る	予定どおり	概ね予定どおり	予定を下回る
事業の内容	○			
事業の効果	○			
特記事項 (評価理由等)	月1～2回の読み聞かせを行い好評であった。 文庫の書籍充実が図れた。			

■今後の取組予定

文庫の活動はこれまで40年以上続けて来ています。

今回の補助金での書籍購入は、通常では買えなかった書籍購入が出来、文庫活動の充実、継続の大きな力となりました。今後も、ぽぽろ文庫運営に委員全員で取り組んで参ります。

支所発地域力向上支援金 事業評価(松代支所)

令和6年11月14日

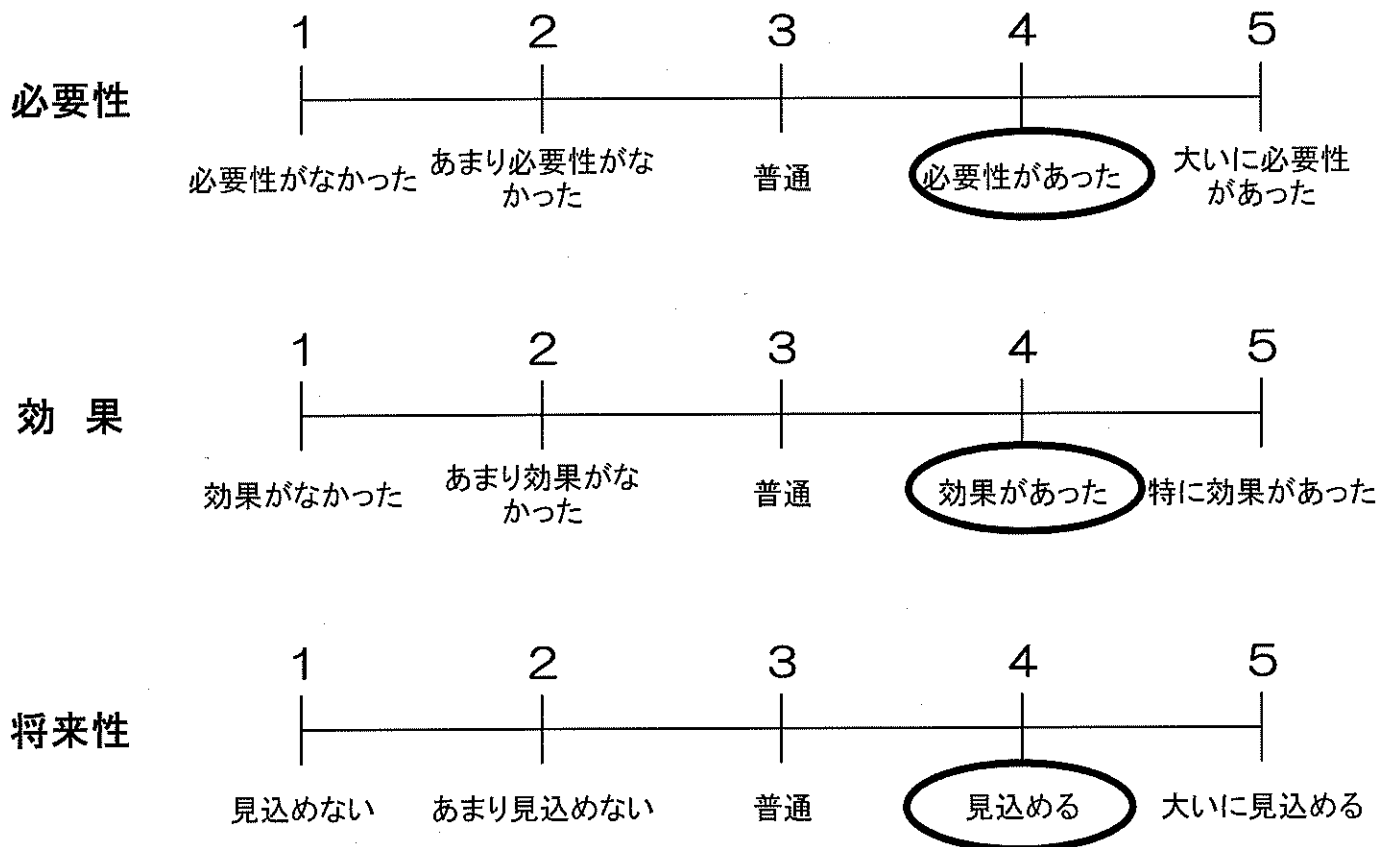
事業名	文庫活動での書籍充実
-----	------------

団体名	ぽぽろ文庫
-----	-------

評価項目 (選考基準の視点で評価)

事業区分

教育・文化活動



支所長の総合評価 (次年度以降の活動への助言等)

- ・身近な地域文庫として、40年以上活動を続けており、子供たちへの読み聞かせや高齢者など地域の方への貸出など、有意義な活動に役立てられている。
- ・子供たちへの読み聞かせなどの事業活動を通して、子供たちや団体会員にどのような影響があったかなど、活動状況を客観的に捉えるとともに、今後の活動に生かしていくことを期待したい。
- ・図書の購入に関して、活字離れが進んでいる現状を踏まえ、児童書籍だけでなく広い年代層が手に取れる文庫等の整備にも支援金が活用されることを期待したい。

支所発地域力向上支援金事業実施報告書（自己評価）

令和7年 1月 8日

事業実施地区	長野市松代町東条の尼厳山麓エリア
事業名	里山（尼厳山）整備活動
団体名及び 代表者名	（団体名）アマカザリ里山再生プロジェクト （代表者名）齋藤 義明 （連絡先）090-3143-0072

■事業概要（選考委員会の助言を含む）

① 事業目的（事業を行う背景・課題・必要性を記載する。） 会社の裏山が年々荒廃荒地に変化していく事に対し、地域や子供達と共に環境整備の大切さを学び、美しい里山を未来に残す為に活動をスタート ② 事業内容（実施方法等について具体的に記載する。） ・いつ 年間を通じて活動 草刈り整備 ⇒ 苗木植樹管理 ⇒ 再生活動を実施 ・どこで 松代町東条長礼の尼厳山麓の一角 ・何を（誰を） 協賛者と地元の子供達で活動 ～ 年々協賛者を増やしていく予定 ・どのように 草刈り整備・植樹 ⇒ 周知活動に力を入れ、事業内容を広めていく。 ・何を（どう）する（今年度の具体的な実施内容） 広報活動・マスメディアへの協力を依頼する。自然の中で楽しめるイベント内容も同時に計画し、年間2回を目標に実施し、地域活性化に繋げる。 地域の子供達の参加による、環境問題、自然豊かな未来を守る事に関しても学んでもらえるよう説明を実施。 東条小学校とも提携して、毎年自然体験の場として取り組みを計画。 ③ 事業効果（①の課題がどのように解消され、地域にどのような影響があるか記載する。） 荒れ地の里山が、人が集う美しい里山へ 環境整備活動へ取り組む事で、協賛者や子供達、その家族、友人へと輪は広がり、環境問題に対する行動が徐々に良い方向へに繋がる事が期待出来ます。 また、気軽に行ける景観の良いお花見スポット、アウトドアスポット、地元子供達の自然学習の場として活用できるようになります。	【事業完了日】 令和7年1月7日 【総事業費】 183,000円 【補助金額】 120,000円
--	---

将来的には、植樹を行った子供達の経験・思い出の場所として
お花見に来て自然の中で楽しんでもらう姿を描いています。
植樹をした子供達が大人になり、さらに次の世代の子供達へとバトンタッ
チして思いを繋げていきます。

※活動状況や備品の表示がわかる写真・成果物等を別途添付

■事業効果（目的の達成度・地域への貢献度等について）

草刈り機の増加により整備エリアが更に広める事が出来、苗木の植樹も増やす事が出来ました。
東条小学校の取組は、4月に自然学習の一環として5年生・6年生約60名ほどが参加し、自然
へのふれあいと地球環境に対する取り組みを学んでいました。10月には再度経過観察と、学
習の機会を作り案内を行いました。この活動は新聞やテレビにも取り上げられ多くの人に知
っていただき取組に関する反響の声「いい取組してるね 等」も多く聞かれました。

昨年に引き続き、松代幼稚園のさくら組さん約20名にも植樹に参加してもらい、記念樹として
協力して植えました。子供の成長と共に、木の成長も楽しみとの声もありました。

※参加人数等、数値化して効果を表せるものがあれば数値化したものも加えて記載をお願いします。

■事業評価（該当欄に○）

	予定を上回る	予定どおり	概ね予定どおり	予定を下回る
事業の内容		○		
事業の効果	○			
特記事項 （評価理由等）	植樹体験をした小学生が、自転車で山に遊びに来る事が何回かありました。 8月にはイベント行事の一環で植樹したエリア内にて「お宝さがしゲーム」 を開催。子供達は山を走り回りながら自然を満喫 11月にアウトドア関係の講師を呼んで、火おこしのやり方、山にある材料で のシェルター作り、山での注意点や豆知識などを子供も含めた参加者と学び ました。 自然の中で遊ぶ事が減ってきているので、「このような自然の中で学ぶ内容の イベントは有難い」との声も聞かれました。			

■今後の取組予定

草刈り、整備活動は引き続き継続し、この場所を活用してのイベントを更に増やして行きた
いです。来年、植樹した木々はまだ成長段階では有りますが、植えた木の手入れの仕方等を
学びながら、春秋にお花見イベントや尼厳山のトレッキングを兼ねたアウトドアレクレー
ションイベントを計画し、楽しむと共に地域の活性化にも繋げていきたいです。

支所発地域力向上支援金 事業評価(松代支所)

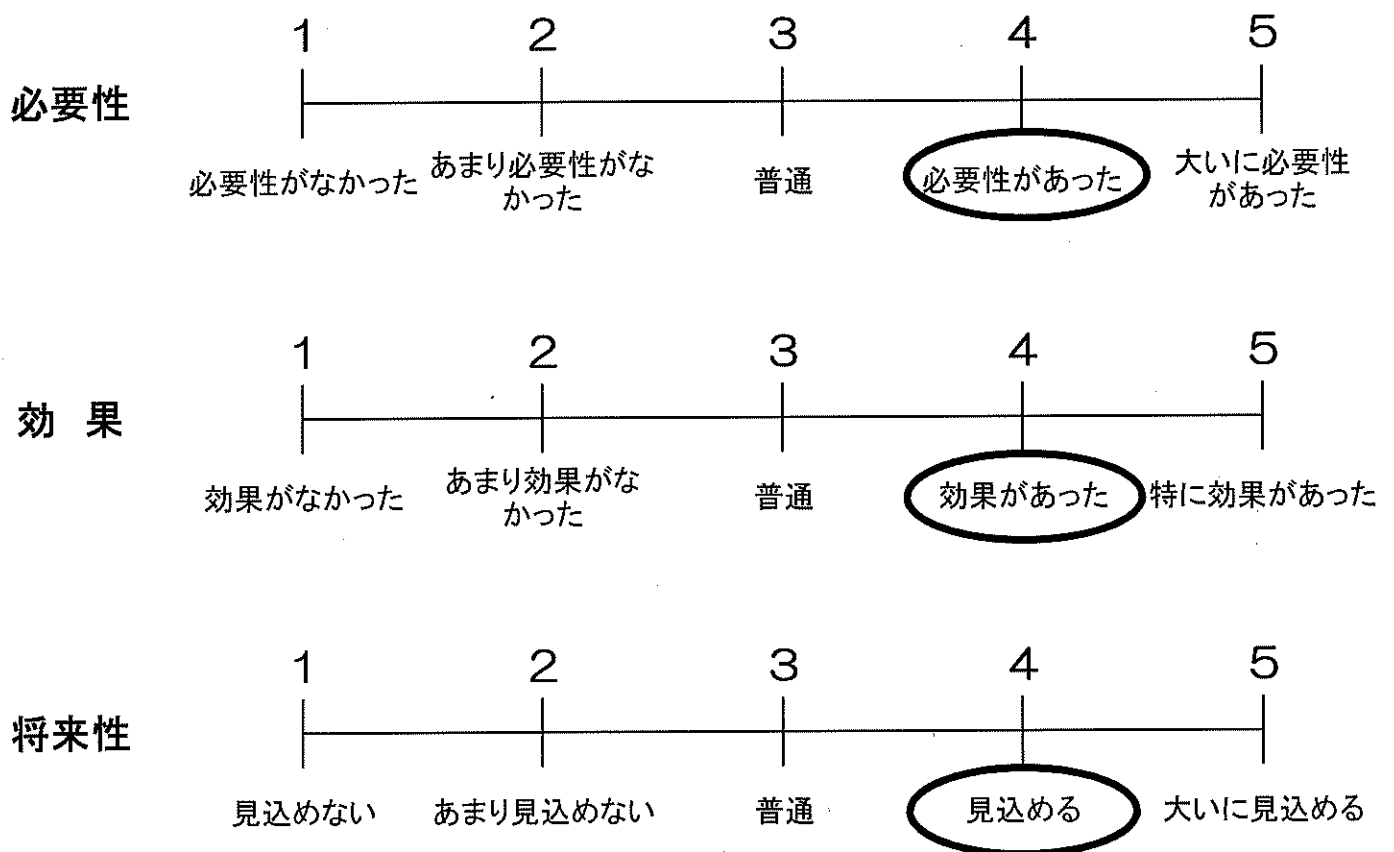
令和7年1月8日

事業名	里山(尼厳山)整備事業
-----	-------------

団体名	アマカザリ里山再生プロジェクト
-----	-----------------

評価項目 (選考基準の視点で評価)

事業区分 環境整備保全活動



支所長の総合評価 (次年度以降の活動への助言等)

・地元小学校や幼稚園との植樹活動のほか、自然体験や環境学習などを行うことで子供たちの情操教育の一助にもなっており、学校からは今後も継続して取り組みに参加したいとの声も聞かれた。また、児童や園児が植樹活動に参加することで、何年後かに自分たちが植えたサクラが開花する姿を見ることができ、将来に渡った関わりも期待できる。

・今年度も、環境整備活動が新聞などのマスメディアに取り上げられ、より多くの人に周知することができた。

・将来的に、松代地区内外から多くの人に訪れてもらえるよう、環境整備や景観の維持管理、使用上のルールが整えられていくことに期待したい。

支所発地域力向上支援金事業実施報告書（自己評価）

7 年 2 月 28 日

地区名	松代
事業名	大室霞城址整備
団体名及び 代表者名	(団体名) 大室霞城址整備会 (代表者名) 代長 小山 清 (連絡先) 278-5985

■事業概要（選考委員会の助言を含む）

引き続き霞城址の環境保全、景観維持のため見通しの邪魔になる雑木を伐採したり、雑草等を刈り払ったりして整備した。また、急で危険な登山道を一部分セメントで整備した。 さらに、昨年度に建設した東屋に長椅子を製作し設置した。 今年度の整備作業に際しても、大室区役員はじめ会員、業者の皆さんに多大な協力をいただいた。	【事業完了日】 令和7年2月16日 【総事業費】 66,148円 【補助金額】 65,000円
---	--

※活動状況の分かる写真・成果物等を別途添付

■事業効果（目的の達成度・地域への貢献度等について）

地域協力者のもとで整備が進み、パンフレットや新聞、ネット、口コミなどから関心を持ってもらい、見学参加者が増えている。大室古墳群まつりにおいても見学コースとして実施された。 引き続き見学ノートには他都県からの見学者の記載も見られ、すばらしくてびっくりした等の感想が書かれている。 今後、東屋は憩いの場に加えて災害時の一時的な少人数の避難個所として利用できないか区とともに検討していきたい。

※参加人数等数値化して効果を表せるものがあれば数値化したものも加えて記載

■自己評価（該当欄に○）

	予定を上回る	予定どおり	概ね予定どおり	予定を下回る
事業の実施			○	
事業の効果			○	
特記事項 (評価理由等)	場所が広いので、継続的に整備が必要である。			

■今後の取組予定

・範囲が広いので今後も見通しの邪魔になる木々の伐採、伐採木の片付け、崩れている石垣の修復、登山道の整備、雑草の刈り払い等継続的に整備が必要である。 ・東屋の長椅子を設置したが、予算不足でできなかった机の設置をしたい。

支所発地域力向上支援金 事業評価(松代支所)

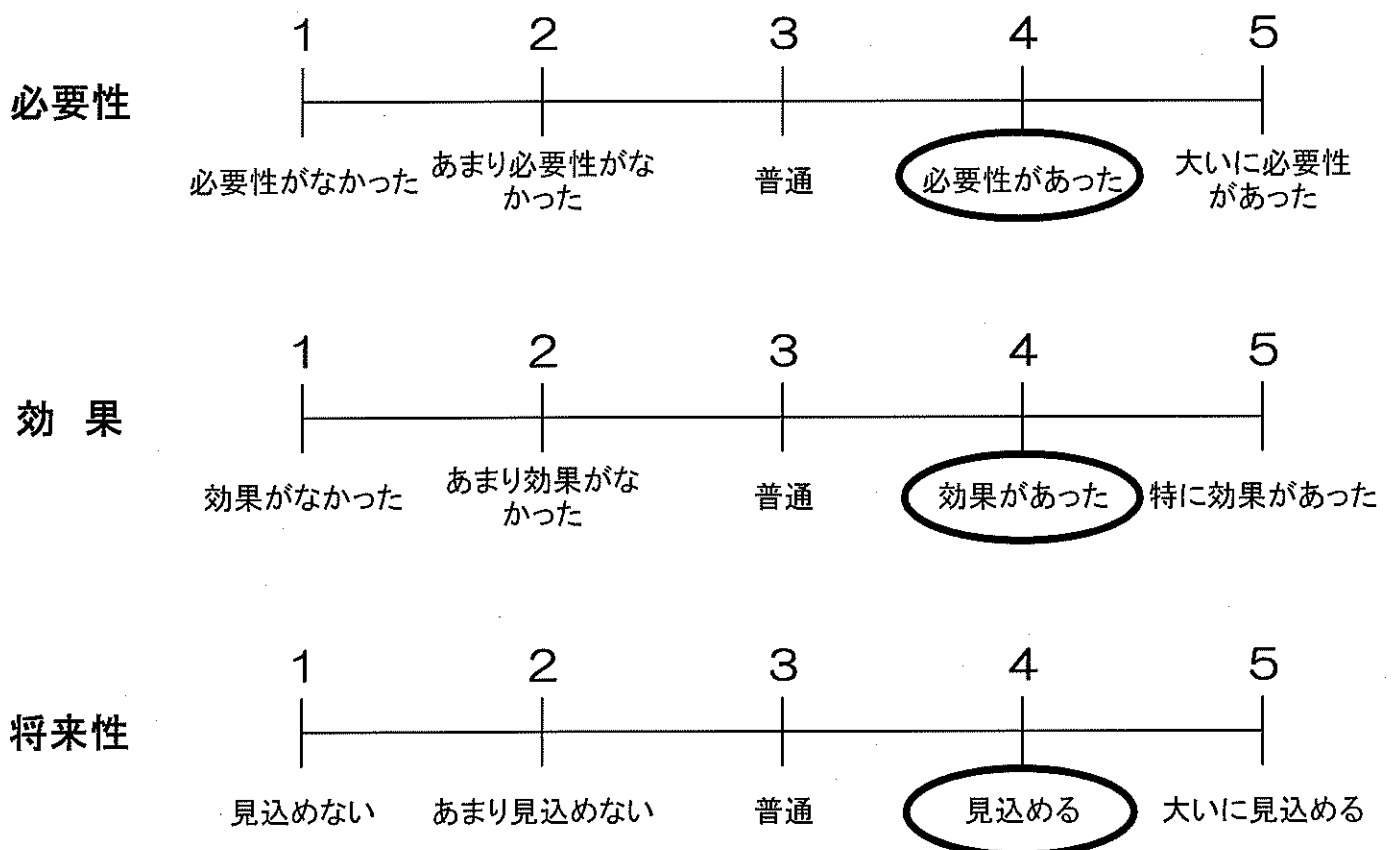
令和7年2月28日

事業名	大室霞城址の整備活動
-----	------------

団体名	大室霞城址整備会
-----	----------

評価項目 (選考基準の視点で評価)

事業区分 環境整備保全活動



支所長の総合評価 (次年度以降の活動への助言等)

・令和2年度以降、会員だけでなく地域の協力を得ながら、霞城の道案内看板の設置、霞城の紹介パンフレット、案内パンフレットの作成、感想記入用ノートのボックス設置、見学者用の東屋の建設などを行い、今年度は登山道の階段整備や東屋用のベンチの設置を行うことでより整備が進んでいる。

・パンフレットや新聞等での周知や、大室古墳群まつりでの見学コースの実施などの効果により、県内外からの訪問者の増加につながっている。

・石垣の修復、登山道整備、草刈りなどの環境整備活動を継続するとともに、今後は東屋への机の設置による、災害時の一時的な避難所利用の検討にも期待したい。

支所発地域力向上支援金事業実施報告書（自己評価）

令和7年2月 28 日

地区名	松代地区
事業名	幕末維新の先覚者「佐久間象山」紙芝居プロジェクト
団体名及び 代表者名	(団体名) NPO 法人夢空間松代のまちと心を育てる会 (代表者名) 理事長 香山 篤美 (連絡先) 026-278-1277

■事業概要

今年は佐久間象山が暗殺されてから160年の節目の年に当たります。そこで改めて佐久間象山の生涯や業績、人物を紙芝居にして、子どもから大人まで多くの町民に知ってもらいたいと考え企画しました。 幕末の先覚者「佐久間象山」の関係する資料を収集、現場の確認等を行い絵柄・文章・物語を検討し作成した。 子供から大人まで読み聞かせが出来るよう文章にもこだわりを持って作成をした。	【総事業費】 80,000円 【補助金額】 80,000円
---	---

【活動写真】

別添 参照	
-------	--

※資料等ある場合は添付する。

■事業効果（目的の達成度・地域への貢献度等について）

地域のみなさん方にも資料収集などで協力して頂き、色々な角度から検討し新作紙芝居の制作が出来た。幕末維新の先覚者「佐久間象山」の生い立ちが分かる紙芝居で伝承が期待出来る。 完成した紙芝居は、読み聞かせボランティアの方や各学校の先生方にも活用頂くことにより地域学習の元にもなり財産にもなる。色々な方の協力を得て、期待以上の作品に仕上がった。
--

■自己評価（該当欄に○）

	予定を上回る	予定どおり	概ね予定どおり	予定を下回る
事業の実施	○			
事業の効果	○			
特記事項 (評価理由等)	取材・資料収集が活発にできた結果、想定より立派なものができ、活用が大いに見込まれる。新作発表会には町内・外から20名の方においでいただき「佐久間象山」や松代をPR出来た。			

■今後の取組予定

今回の「佐久間象山」紙芝居の作品を含めた全41作を、積極的に活用（貸出）していく。 次年度にも新作を検討して行く。

支所発地域力向上支援金 事業評価(松代支所)

令和7年2月28日

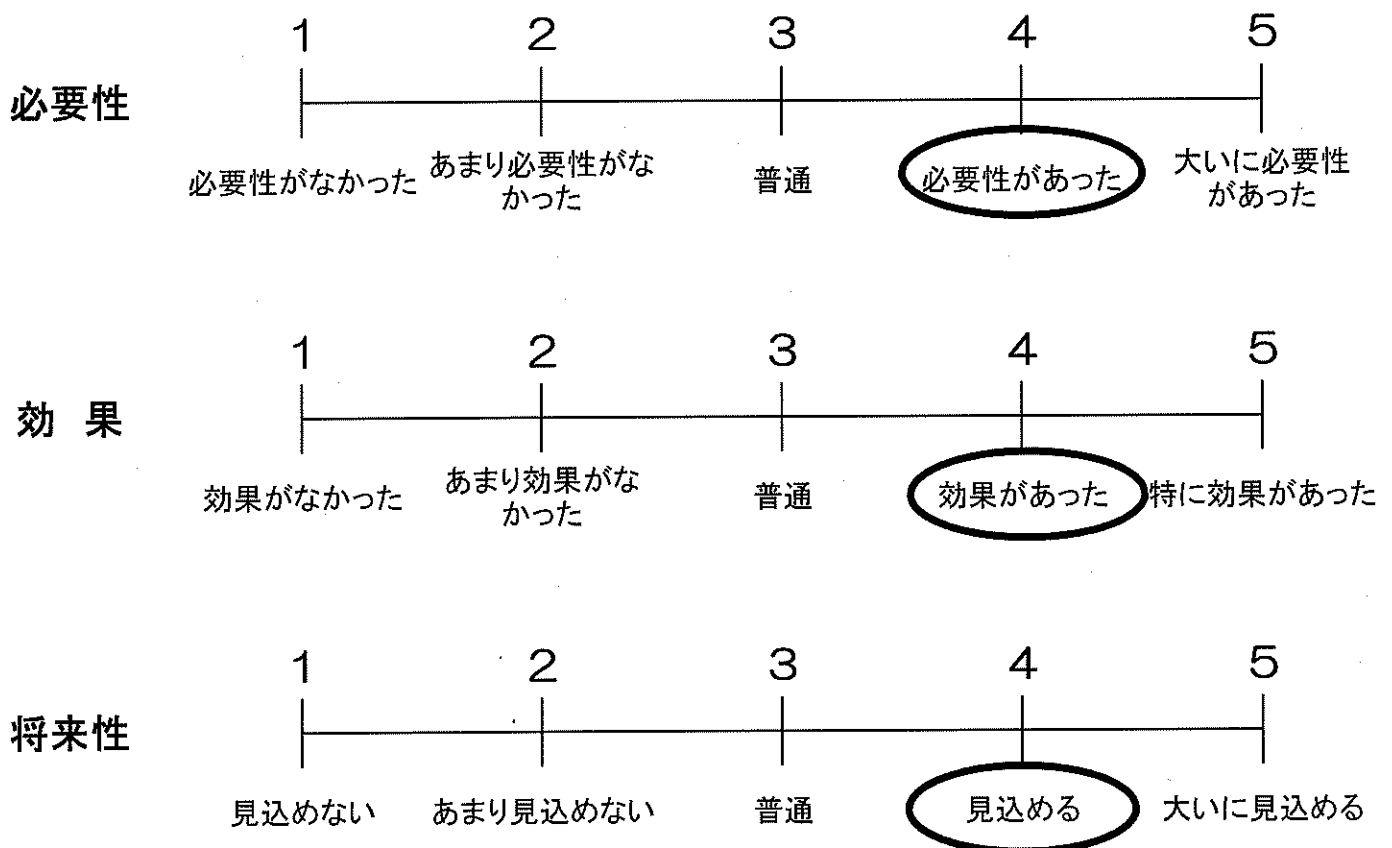
事業名	幕末維新の先覚者「佐久間象山」紙芝居プロジェクト
-----	--------------------------

団体名	NPO法人 夢空間松代のまちと心を育てる会
-----	-----------------------

評価項目 (選考基準の視点で評価)

事業区分

教育・文化活動



支所長の総合評価 (次年度以降の活動への助言等)

- ・松代出身で幕末の兵学者である佐久間象山に関する資料を収集し、人物の表情などの絵柄や文章も細部にこだわっており、子どもだけでなく大人も楽しめる作品となっている。
- ・新作発表会には、松代町内外から多くの方が参加した。今回は、佐久間象山没後160年を迎えるタイミングでの事業実施ということで、紙芝居イベントを通して佐久間象山の業績と人間性を再認識する機会となっている。
- ・紙芝居借用の依頼もあるということで、松代町内の保育園・幼稚園、小学校、児童館、読み聞かせボランティアなどへの貸出により、佐久間象山という偉人の存在を子どもたちにもっと知ってもらう機会にしていきたい。
- ・過去に制作した作品も含めて、松代町外の地域にも積極的に貸出するなど、有効活用に期待したい。